

## 出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（全国）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成22年	平成21年	対前年増減	平成22年	平成21年	平成22年	平成21年
						分 秒	分 秒
出 生	1,071,304	1,070,035	1,269	8.5	8.5	29"	29"
男	550,742	548,993	1,749	8.9	9.0	57"	57"
女	520,562	521,042	-480	8.0	8.1	1' 1"	1' 1"
死 亡	1,197,012	1,141,865	55,147	9.5	9.1	26"	28"
男	633,700	609,042	24,658	10.3	9.9	50"	52"
女	563,312	532,823	30,489	8.7	8.3	56"	59"
(再掲) 乳児死亡	2,450	2,556	-106	2.3	2.4	214' 32"	205' 38"
新生児死亡	1,167	1,254	-87	1.1	1.2	450' 23"	419' 8"
自 然 増 加	-125,708	-71,830	-53,878	-1.0	-0.6	...	...
死 産	26,560	27,005	-445	24.2	24.6	19' 47"	19' 28"
自然死産	12,245	12,214	31	11.2	11.1	42' 55"	43' 2"
人工死産	14,315	14,791	-476	13.0	13.5	36' 43"	35' 32"
周産期死亡	4,515	4,519	-4	4.2	4.2	116' 25"	116' 19"
妊娠満22週以後の死産	3,637	3,645	-8	3.4	3.4	144' 31"	144' 12"
早期新生児死亡	878	874	4	0.8	0.8	598' 38"	601' 22"
婚 姻	700,214	707,734	-7,520	5.5	5.6	45"	45"
離 婚	251,378	253,353	-1,975	1.99	2.01	2' 5"	2' 4"

	平成22年	平成21年
合計特殊出生率 2)	1.39	1.37
年齢調整死亡率 3) 男	5.4	5.4
女	2.7	2.7

- 注: 1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。